



松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2022年 3月 19日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校
校長 浅井宣光

主よ、あなたのみことばのとおり、あなたの僕（しもべ）に恵み深くおはからいください。確かな判断と知識をもつように、わたしを教えてください。
(旧約聖書 詩編 119 編 65~66)

1年を振り返る 今年度の「授業評価アンケート」「学校評価アンケート」

「緊張します。」職員室である先生がつぶやいていました。「授業評価アンケート」の結果が返却される頃のことです。教員にとっては年に一度の「通知表」のようなものですし、保護者の方に回答していただく「学校評価アンケート」は、学校の「成績表」とも言えましょうか。今年度の学校運営方針として、「安心、安全のある学級、学校」「たがいを尊重し多様性を認め合う、いじめをゆるさない学級、学校」「『個』の自立と、自発的行動がある学級、学校」「ICT情報モラルを高める学級、学校」づくりを掲げました。（「校長室だより」2021年4月8日号）年度末を迎え、各学年団や校務関係の各部署で「学校自己評価」を行い、2学期末の生徒対象「授業評価アンケート」、3学期の保護者対象「学校評価アンケート」とともに1年を振り返ります。これら2021年度の資料をもとに次年度の「学校関係者評価」を実施し、学校HPで公表する予定です。

生徒・保護者対象の学校に関するアンケートは、2010年度に導入しました。設問内容は学習、キリスト教主義教育、学校行事、友人関係など学校生活全般にわたり、「学校生活の満足度」が初めて数値化されました。1年の学校生活を肯定的に評価していた生徒、保護者の方の割合が毎年9割に上っていたことは、教員にとってとても嬉しい結果でした。否定的な評価や自由記述に記された事柄については、出来る事から改善しようと取組みをすすめました。その一例として些細なことですが、「事務室や職員室に電話しても受話者が名乗らず、誰に用件を伝えたのか不明で困る」という保護者の方の声があり、早速に対応しました。現在、学校へのお電話でお分かりのとおりです。

授業に関しては、「松蔭の授業に満足している」「先生は、やる気ができるような授業をしている」「先生は質問しやすい」など、授業全般について漠然と感想を尋ねる設問でした。結果として、各授業の問題点を抽出したり、具体的な対応策を講じたりすることは困難でした。また、保護者アンケートにも授業に関する設問がありましたが、「親にはわかりません」「娘から感想を聞くだけは回答しにくい」との声が挙がっていました。さらに、マークシート方式による回答であったため、用紙回収、その後のデータ集計から結果資料作成まで1ヶ月半以上を要しました。そのため、結果のフィードバックの時期が年度末の3学期終了後となり、このタイミングの「旧」学級のデータは、「新」学年の学級・学年づくりに活用しにくいという問題点がありました。結果の共有、分析についても、管理職のほかには学年・学級のデータを学年主任と各クラス担任のみに返却していただけで、取組みは不十分でした。

これら懸案事項に対処するため、2020年度のアンケートは、生徒「授業評価アンケート」と保護者「学校評価アンケート」に分離し、デジタル回答方式を採用しました。授業の「質」を向上させるには、個々の授業に対する「生徒の視点を生かした評価」が必要でした。すべての授業が対象となり、回答項目数が一挙に増えましたが、マークシート記入からWEB入力に移行したことで、回答側と集計側双方の労力と負担感が抑えられました。一人一台のICTデバイス所持が年次進行で始まり、ICT利用などについての設問も加えました。この年度が中学のストリーム制の初年度であることも「授業評価アンケート」実施の契機になりました。2年目の今回は、実施時期を12月に早め、結果のフィードバック後も授業を行えるようにしました。保護者アンケートについても、設問項目を再吟味して保護者の方の目線に立つ内容になるよう努めました。今年度の2つのアンケートの結果について、以下のとおり概要を報告いたします。

生徒「授業評価アンケート」結果より

「より良い授業づくり」を目的とし、設問リストにある10問を全ての授業を対象として実施しました。回答は次の4段階で点数化しました。満点は4点、中間値は2.5点です。3点以上が概ね肯定的評価と言えるでしょう。

① とてもそう思う（4点） ② ややそう思う（3点） ③ あまり思わない（2点） ④ 思わない（1点）

設問リスト 今回実施したアンケートの設問一覧です。

授業の進め方

- Q1 先生の授業ではポイントが整理されている（板書・電子黒板・プリント・実技指導を含む）。
- Q2 先生は、自分たちが勉強しやすいよう、いろいろ工夫してくれている。
- Q3 先生の授業での説明はわかりやすい。
- Q4 先生が使うICT教材（教材・映像・画像・板書など）は、わかりやすい。
- Q5 私には、ICTデバイスを利用した学習が合っている。（利用していない科目は答えなくてよい）
- Q6 先生は、生徒からの質問に対して、丁寧に応えてくれる。
- Q7 先生は、授業に対する熱意が感じられる。
- Q8 私は、わからないことがあると先生に質問したり相談したりしている。
- Q9 私は、先生の授業に満足している。
- Q10 私は、先生の授業を受けて、自分の学力（実技科目であればその技術）がついてきていると思う。

結果は、「学年別」「教科別」「教員別」の3分野のデータを作成しました。ここでは「学年別」の結果データを掲載します（下表）。

「学年別」結果を見ますと、全設問の平均は3.33ポイント。昨年度は3.3ポイントでしたので若干向上しました。「私は、先生の授業に満足している」では、全体平均（3.35）に対し、高3（3.47）、中3（3.48）で高い評価がありました。「先生の授業での説明はわかりやすい」の設問では、全体平均（3.35）に対して高3（3.49）が最も上位に位置しています。設問ごとの全体平均でも高3に高いポイントが並んでいます。大学進学を目前に緊張感のある授業が行われていたことを示していると分析しています。また、全設問平均が全学年で3.0ポイントを上回っていることは、概ね評価できる点ではないかと見ています。

一方、マイナス面としては「私は、わからないことがあると先生に質問したり、相談したりしている」という設問について、4学年で2ポイント台にとどまっています。第一に教員の側の「壁」を低くすること、次に、自学自習の姿勢を促し、積極的に質問する「意欲」を引き出す教員側の工夫が必要です。

「教科・科目別」結果については、昨年度アンケートでは、中学GS課程の「ミカエル国際学校連携授業」が2.5ポイントと低い評価でしたが、今年度は3.01ポイントとなり、全設問平均で2.0ポイント台の教科、科目がゼロになりました。特に評価が高い教科は、書道（3.52）、美術（3.49）、家庭科（3.46）、情報（3.40）、国語（3.37）、中学GS探究（3.37）、音楽（3.37）、理科（3.36）でした。

「教員別」結果では、担当者ごとの全授業の平均で3.0ポイントを上回ったのは84%。最高は3.88ポイントでした。2ポイント台の授業については今後の改善が求められます。

これまで「教員別」の帳票を各教員に返却するとともに、「教科・科目別」結果は各教科で共有しました。アンケートから明らかになった「生徒の視点」に立った、授業の「わかりやすさ」や「満足度」を指標とし、他校の授業実践や研究を参考にしながら改善を加えて「より良い授業」を目指したいと思います。

設問ごとの平均得点を回答者グループごとに算出。比較対象とのポイント差により色付けされています。

全体平均+0.2以上 全体平均-0.2以下

学年	調査数	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	全設問平均
		先生の授業ではポイントが整理されている…	先生は、自分たちが勉強しやすいよう、い…	先生の授業での説明はわかりやすい。	先生が使うICT教材（教材・映像・画像…	私には、ICTデバイスを利用した学習が…	先生は、生徒からの質問に対して、丁寧に…	先生は、授業に対する熱意が感じられる。	私は、わからないことがあると先生に質問…	私は、先生の授業に満足している。	私は、先生の授業を受けて、自分の学力（…	
全体平均	7,546	3.44	3.42	3.35	3.29	3.21	3.48	3.50	3.03	3.35	3.21	3.33
中1年	790	3.41	3.37	3.33	3.21	3.05	3.32	3.39	2.70	3.22	3.11	3.21
中2年	1,189	3.46	3.43	3.34	3.34	3.34	3.45	3.47	2.96	3.36	3.20	3.34
中3年	1,299	3.53	3.55	3.46	3.41	3.33	3.59	3.57	3.19	3.48	3.38	3.45
高1年	1,475	3.37	3.34	3.26	3.17	3.03	3.45	3.47	2.91	3.25	3.06	3.23
高2年	1,153	3.30	3.29	3.19	3.16	2.98	3.46	3.48	2.96	3.24	3.01	3.21
高3年	1,640	3.54	3.52	3.49	3.41	3.36	3.54	3.56	3.28	3.47	3.40	3.46

保護者「学校評価アンケート」結果より

先月、保護者の皆様にClassiアンケートをお願いしました。ご協力くださり、ありがとうございました。結果データにつきましては、Classiで別にお届けしますのでご覧ください。「子どもを松蔭に入学させて良かったと思う」の設問では、「そう思う」が62%、「ややそう思う」の30%を合わせて、今回も9割以上の肯定的評価をいただきました。本校の看板である「英語教育」に関する設問については、一步踏み込んで検証する必要があると考えています。学校ホームページについては、年度途中にリニューアルするとともにSNSによる発信も始めました。結果からは「学校が伝えたい情報」と「保護者が知りたい情報」にギャップがあるように感じられました。再点検したいと思います。

教職員一同、気持ちを引き締めて新年度を迎える所存です。引き続きご協力ならびにご支援をよろしくお願い申し上げます。

春休み～新年度当初の行事予定

校内での主な行事の予定です。詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

4月1日（金）中学新入生オリエンテーション 高校入学生ガイダンス

4月2日（土）文化祭りハーサルI

4月7日（木）入学式（新中1、新高1の高校入学生のみ登校）

4月8日（金）8：45朝礼（中学・高校） 始業式・クラス写真撮影・HR後、終礼